

2025年3月期 通期 IR説明会資料

CREATIVE CONNECTIVITY
—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社 (6798)
2025年5月23日

1. FY2024決算概況とFY2025業績予想 P. 03～13
2. 中期経営計画「SMK Next100」の進捗状況
構造改革プログラムの推進 P. 14～29
3. CS事業部、SCI事業部、イノベーションセンター
成長に向けた事業戦略 P. 30～38

FY2024決算概況とFY2025業績予想

執行役員 北平 至

- 売上高は480億円と前期比3.3%の微増、情報通信市場の得意先の需要減やメキシコ生産子会社の退職給付費用の計上から2.2億円の営業損失となるも、不動産収支等から経常利益は5.5億円で着地
- 特別損失として「構造改革プログラム」に伴う事業構造改革費用や子会社留保利益税効果等もあり、18.8億円の当期純損失

単位：百万円

	FY2023 実績	FY2024 実績	増減率
売上高	46,522	48,051	+ 3.3%
営業利益 (営業利益率)	△1,243 (△2.7%)	△220 (△0.5%)	—
経常利益	226	549	+142.9%
特別損失	739	1,520	+ 105.7%
法人税等	435	921	+111.5%
当期純利益	△489	△1,884	—
1株当たり当期純利益 (円)	△75.00	△297.39	—
為替平均レート (1USD=)	144.56円	152.65円	

- CS : 車載、家電、産機市場が好調に推移し、前期比増収増益
- SCI : 売上高は前期並みとなるも、売価適正化やコスト削減により赤字縮小（前期は棚卸評価損約 7 億円計上）
- イノベーションセンター : Bluetooth®モジュールの市況悪化により減収減益

単位：百万円

		FY2023 実績	FY2024 実績	前期比		コメント
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	20,586	22,156	+1,569	+7.6%	■ カメラ関連、E-Bike関連が好調 ■ アミューズメント、再生エネルギー、タブレット関連が拡大 ■ スマートフォン関連が減少
	営業利益	1,095	1,534	+438	+40.0%	
SCI 事業部	売上高	25,541	25,643	+101	+0.4%	■ サニタリー・エアコン・スマート家電用リモコンが好調 ■ カメラモジュール、E-bike操作ユニットが堅調 ■ 車載向けタッチセンサーが減少
	営業利益	△2,145	△1,308	+837	—	
イノベーション センター 旧 開発センター	売上高	394	251	△142	△36.2%	■ モバイルプリンター用Bluetooth®モジュールが減少 ■ 照明機器用Sub-GHz通信システムは前期並み
	営業利益	△193	△446	△252	—	
合計	売上高	46,522	48,051	+1,528	+3.3%	
	営業利益	△1,243	△220	+1,023	—	
為替平均レート (1USD=)		144.56円	152.65円			

■ 上期は、CS事業部のタブレット・スマホ関連、再生エネルギー関連が好調で全体を牽引

■ 下期に入り、CS事業部の情報通信市場の減速もあり、売上・営業利益ともに低位推移

() : 前年同期比

単位：百万円

		FY2024				3Q比 増減額	3Q → 4Qのトレンド
		1Q	2Q	3Q	4Q		
CS 事業部	売上高	(+21.1%) 5,717	(+3.1%) 5,801	(+4.9%) 5,322	(+2.9%) 5,314	△8	タブレット・スマホ関連の 需要減が3Qから継続
	営業利益	(+1,147.8%) 569	(+23.1%) 591	(△32.0%) 157	(△36.1%) 215	+58	
SCI 事業部	売上高	(△4.4%) 5,944	(△4.1%) 6,037	(△6.4%) 5,642	(+14.6%) 8,018	+2,376	4Qは在庫販売、開発費回収 により売上増となるも、メ キシコの退職給付費用計上 により営業利益減
	営業利益	(-) △528	(-) △322	(-) △185	(-) △271	△85	
イノベーション センター 旧 開発センター	売上高	(△36.0%) 64	(△55.3%) 49	(△26.2%) 50	(△24.0%) 87	+37	4Qは売上増により営業赤字 は縮小
	営業利益	(-) △104	(-) △95	(-) △155	(-) △89	+66	
合計	売上高	(+6.2%) 11,726	(△1.2%) 11,888	(△1.4%) 11,015	(+9.3%) 13,420	+2,405	
	営業利益	(-) △64	(△16.0%) 172	(-) △183	(-) △145	+38	

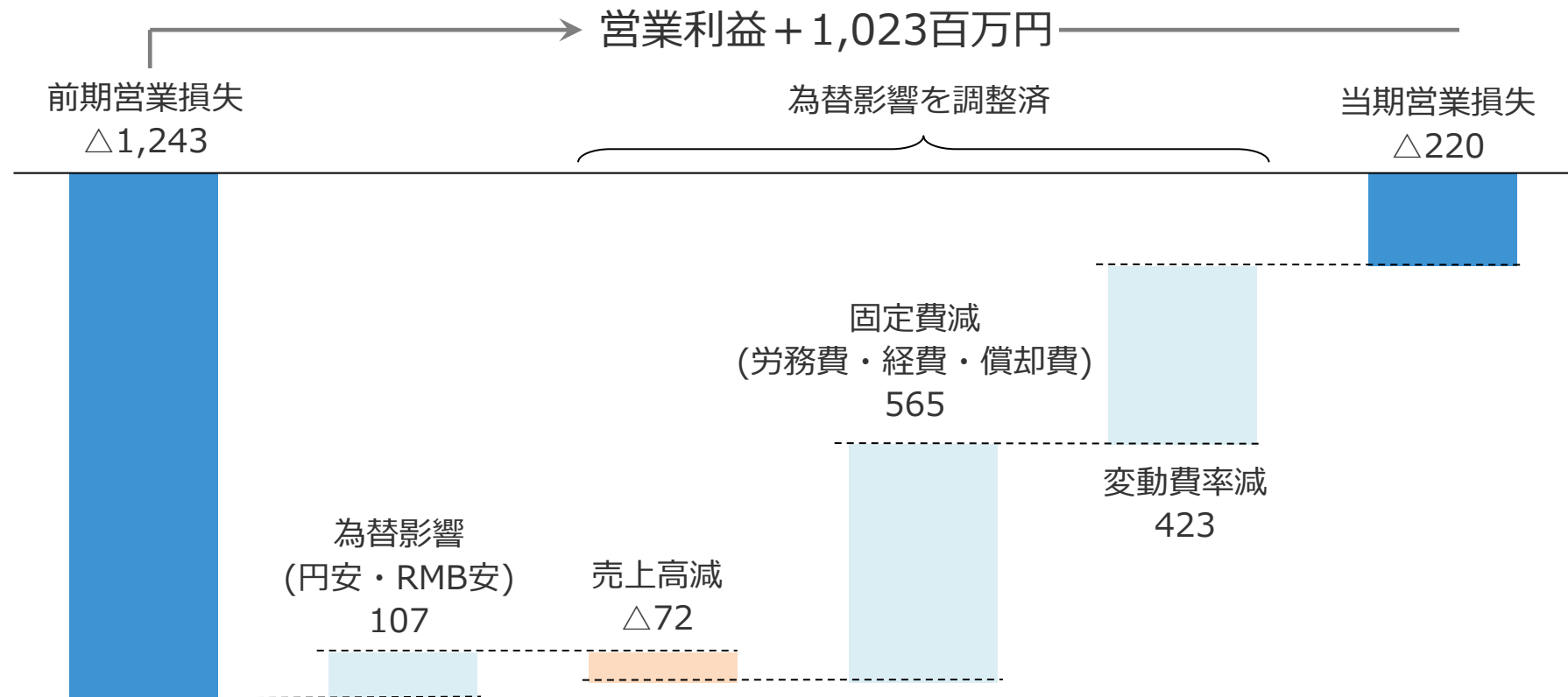
- 家電市場はリモコンやアミューズメント関連コネクタの好調により拡大、産機市場は再生可能エネルギー関連コネクタ好調により拡大
- 情報通信市場はスマートフォン関連コネクタの減速により減少、車載市場はコネクタが好調、カメラモジュール、ユニットが堅調なるも、タッチセンサー減少により前期並み

単位：百万円

	FY2023 実績	FY2024 実績	前期比		コメント
			増減額	増減率	
情報通信	7,908	6,949	△958	△12.1%	■ スマートフォン関連コネクタが減少
家電	17,500	19,820	+2,320	+13.3%	■ サニタリー用・エアコン・スマート家電用リモコンが拡大 ■ アミューズメント関連コネクタが拡大
車載	16,599	16,100	△499	△3.0%	■ カメラ関連、E-Bike関連コネクタが拡大 ■ カメラモジュール、E-Bike用操作ユニットが堅調 ■ タッチセンサーが減少
産機・その他	4,513	5,180	+666	+14.8%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが拡大
合計	46,522	48,051	+1,528	+3.3%	

- 為替影響を除く実質ベースでは売上高減により営業利益が減少したものの、円安効果、プロダクトミックスによる変動費率改善、固定費削減により営業損失は前期比で縮小

単位：百万円



期中平均レート	FY2023	FY2024
USD/JPY	144.56	152.65
USD/RMB	7.18	7.22

単位：百万円

特別損失	内容	金額
事業構造改革費用	「構造改革プログラム※」における国内人員数の最適化に伴う費用等 (割増退職金・転進支援金等)	869
減損損失	当社及びフィリピン生産子会社保有の固定資産を減損	497

※2025年3月25日「構造改革プログラムに関するお知らせ」参照

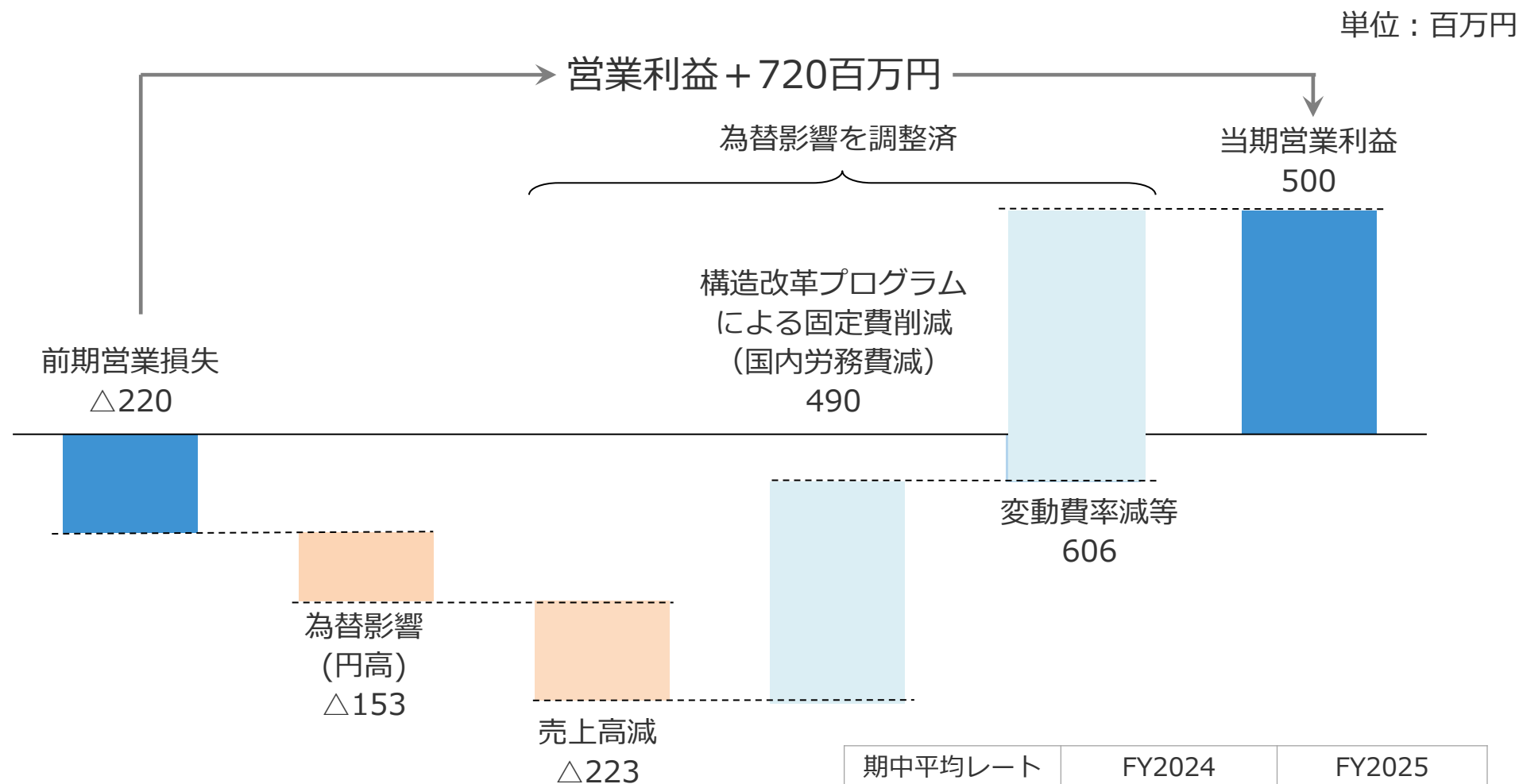
法人税等	内容	金額
法人税等調整額	在外子会社の配当方針見直しによる留保利益に係る税効果を計上	414

- 売上高は減収なるも、構造改革プログラムの加速により、営業利益は改善

単位：百万円

	FY2024実績	FY2025予想	増減率
売上高	48,051	46,000	△4.3%
営業利益 (営業利益率)	△220 (△0.5%)	500 (1.1%)	—
経常利益	549	1,000	+82.0%
当期純利益	△1,884	600	—
1株当たり当期純利益（円）	△297.39	94.70	—
配当金（円）	140.00 (中間 50/期末 90) 期末に記念配当40含む	100.00 (中間 50/期末 50)	
為替平均レート（1USD=）	152.65円	145.00円	

- 構造改革プログラムによる固定費削減と変動費率改善により、円高や売上高減のインパクトを補い、営業利益 5 億円を確保



期中平均レート	FY2024	FY2025
USD/JPY	152.65	145.00

単位：百万円

	2024/3 (A)	2025/3 (B)	増減 (B) - (A)
資産	58,444	57,684	△759
現預金	10,258	10,475	+216
受取手形及び売掛金	13,222	13,935	+713
棚卸資産	9,257	7,673	△1,584
固定資産	24,619	24,535	△84
負債	26,300	28,462	+2,162
買掛金及び未払金	6,503	6,901	+397
有利子負債	14,365	15,616	+1,250
純資産	32,143	29,221	△2,921
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	55.0%	50.7%	△4.3%

単位：百万円

	FY2023	FY2024
営業キャッシュフロー	3,719	2,439
運転資金	1,610	245
税引前利益	△53	△963
減価償却費	2,451	2,347
その他	△289	809
投資キャッシュフロー	△1,617	△2,216
フリーキャッシュフロー	2,102	222
財務キャッシュフロー	△478	286
有利子負債の増減額	1,005	924
自己株式の増減額	△498	△1
配当金の支払金額	△984	△636
現金等期首残高	8,915	10,197
現金等期末残高	10,197	10,415

中期経営計画「SMK Next100」の進捗状況 構造改革プログラムの推進

代表取締役社長 池田 靖光

SMK's Vision CREATIVE CONNECTIVITY —Challenge, Creativity, Solutions

前中期経営計画
FY2021-FY2023

中期経営計画
FY2024-FY2026

長期ビジョン
FY2035

2025年4月 創立100周年

持続的成長に向けた
構造改革の加速

次の100年に向け、売上・利益の持続的
成長、経営基盤並びに資本・財務戦略の
高度化を進め、企業価値を最大化

SMK Next100

新たな成長に向けて

Confidence & Transformation

ありたき姿

あらゆるニーズを実現する
“ものづくり力”で、
次の100年に貢献する。

～エレクトロニクスを活用するお客様の課題を解決する製品やサービスを提供し、豊かな社会の創造に貢献いたします～

	FY2023 実績	FY2026 目標 (中期経営計画最終年度)	FY2035 目標 (長期ビジョン)
売上高	465億円	600億円	1,500億円
営業利益率	△2.7%	3.5%	10.0%
ROE	△1.5%	5.0%	10.0%

- 次の100年の飛躍に向け、『**持続的成長に向けた構造改革**』を加速
- サステナビリティを前提とし、売上・利益の持続的成長の実現に向けた取り組み、経営基盤並びに資本・財務戦略の高度化を進め、企業価値最大化につなげる

企業価値の向上

売上・利益の持続的成長の実現
(P. 20-23)

事業を支える経営基盤の強化
(P. 20-21,24)

資本・財務戦略の高度化
(P. 25)

ESG&サステナビリティ経営の推進
(P. 26)

- FY2024は後半の市況の悪化により未達、FY2025も引き続き厳しい環境が継続
- 2025年3月発表の構造改革プログラムを確実に実行、構造改革を加速し競争力を高める
- イノベーションセンターの事業化の遅れから、FY2026の目標合計は変えないものの、内訳は変更

単位：億円

		FY2024			FY2025			FY2026
		目標	実績	実績／目標	目標	予想	予想／目標	目標
売上高	CS	234	221	△5.5%	240	216	△10.0%	289
	SCI	263	256	△2.7%	274	243	△11.3%	310
	IC	3	3	0%	6	2	△66.7%	1
	合計	500	481	△3.8%	520	460	△11.5%	600
営業利益	CS	9.7	15.3	57.7%	10.0	8.1	△20.0%	17.5
	SCI	△7.1	△13.1	△84.5%	0	1.0	—	7.0
	IC	△4.6	△4.4	4.3%	△3.0	△4.1	△33.3%	△3.5
	合計	△2.0	△2.2	△10.0%	7.0	5.0	△28.6%	21.0
	(率)	△0.40%	△0.46%		1.3%	1.1%		3.5%
ROE		最終年度に5.0%						
為替平均レート (1USD=)		150円	152.65円	—	130円	145円	—	130円

※IC：イノベーションセンター

＜売上未達要因＞

- CS : 車載・E-Bike、アミューズメント関連は拡大するも、情報通信関連が低迷
- SCI : 住設、車載関連の在庫調整の長期化やセンシング関連新製品のビジネス化遅れの影響
- イノベーションセンター : ヘルスケア新分野のビジネス化遅れの影響

単位：億円

		FY2025			コメント
		目標	予想	予想／目標	
売上高	CS	240	216	△10.0%	スマホ、タブレット関連が低調
	SCI	274	243	△11.3%	住設、車載関連ユニットが低調
	IC	6	2	△66.7%	Bluetooth®モジュールの低迷とヘルスケア新分野のビジネス化遅れ
	合計	520	460	△11.5%	
営業利益	CS	10.0	8.1	△20.0%	売上減による利益未達
	SCI	0	1.0	—	構造改革による損益改善
	IC	△3.0	△4.1	△33.3%	売上減による赤字拡大
	合計	7.0	5.0	△28.6%	
	(率)	1.3%	1.1%		
為替平均レート (1USD=)		130円	145円	—	

※IC：イノベーションセンター

- 米国による追加関税措置の直接的な影響は軽微
- 市況悪化等の間接的影響は未知数で、今回の業績予想に織り込まず
- 主要顧客に対する売価適正化交渉や生産地変更を含むサプライチェーン最適化を適切に進める

単位：百万円

	FY2024 実績	FY2025 予想	前年同期比		コメント
			増減額	増減率	
日本	17,255	17,100	△155	△0.9%	車載カメラモジュール減少 E-Bike関連コネクタ拡大
北米	10,976	11,200	+224	+2.0%	タブレット関連コネクタ拡大 家電リモコン・ユニット拡大
中国	9,484	8,200	△1,284	△13.5%	スマートフォン関連コネクタ減少 アミューズメント関連コネクタ減少
その他アジア (含む台湾)	8,255	7,400	△855	△10.4%	エアコン用リモコンが反動減 車載関連コネクタ減少
欧州	2,081	2,100	+19	+0.9%	家電用リモコン拡大
合計	48,051	46,000	△2,051	△4.3%	

※地域別内訳数値は、社内管理数値を使用しております。

中期経営計画

「SMK Next100」 (FY2024-FY2026)

「持続的成長に向けた構造改革」を推進

- 売上・利益の成長軌道への回帰に向けた資源投下とコスト構造改革
- 製販一体運営等の経営基盤の強化

現状認識と課題

- | | |
|---------------|------------------|
| ・ CS事業部 | 売上・利益を確保しているが低成長 |
| ・ SCI事業部 | 在庫調整の長期化で赤字継続 |
| ・ イノベーションセンター | 新規ビジネス化の遅れで赤字継続 |



さらなる構造改革の加速により競争力の向上が必要

構造改革 プログラム の方針

- 不採算ビジネスの撤退・縮小を進め、採算性や効率性の高い分野へリソースを集中
- 管理部門の規模適正化を進め、売上・利益の成長軌道への回帰を図る
- ビジネスの選択と集中、固定費削減による抜本的なコスト構造改革を行い、競争力を強化

成長に向けた事業戦略の加速 (P. 22-23)

- 事業構造の見直し、成長分野へのシフト

コスト構造の見直し

- 国内人員数の最適化
- 国内組織の合理化
(茨城営業所閉鎖、管理部門の組織再編と規模適正化)
- 固定費の削減と経費コントロールの徹底
- 欧米の販社体制の人員体制の合理化

人材ポートフォリオの最適化 (P. 24)

- 人的資本経営の強化
- 社員の個の力の成長を支援し、社員の行動変容を組織的に行うことで、学習・共創する未来志向の組織風土の醸成・定着

全社戦略

エレクトロニクスを活用する領域の広がり、電子部品分野の成長を踏まえ、より成長性が高いCS事業を重点注力領域として位置づけ、資源投下を強化

SCI事業部

- 製品群を見直し不採算分野の縮小を通じ利益体質への転換を実現
- センサー・センシングビジネスを新たな柱として注力

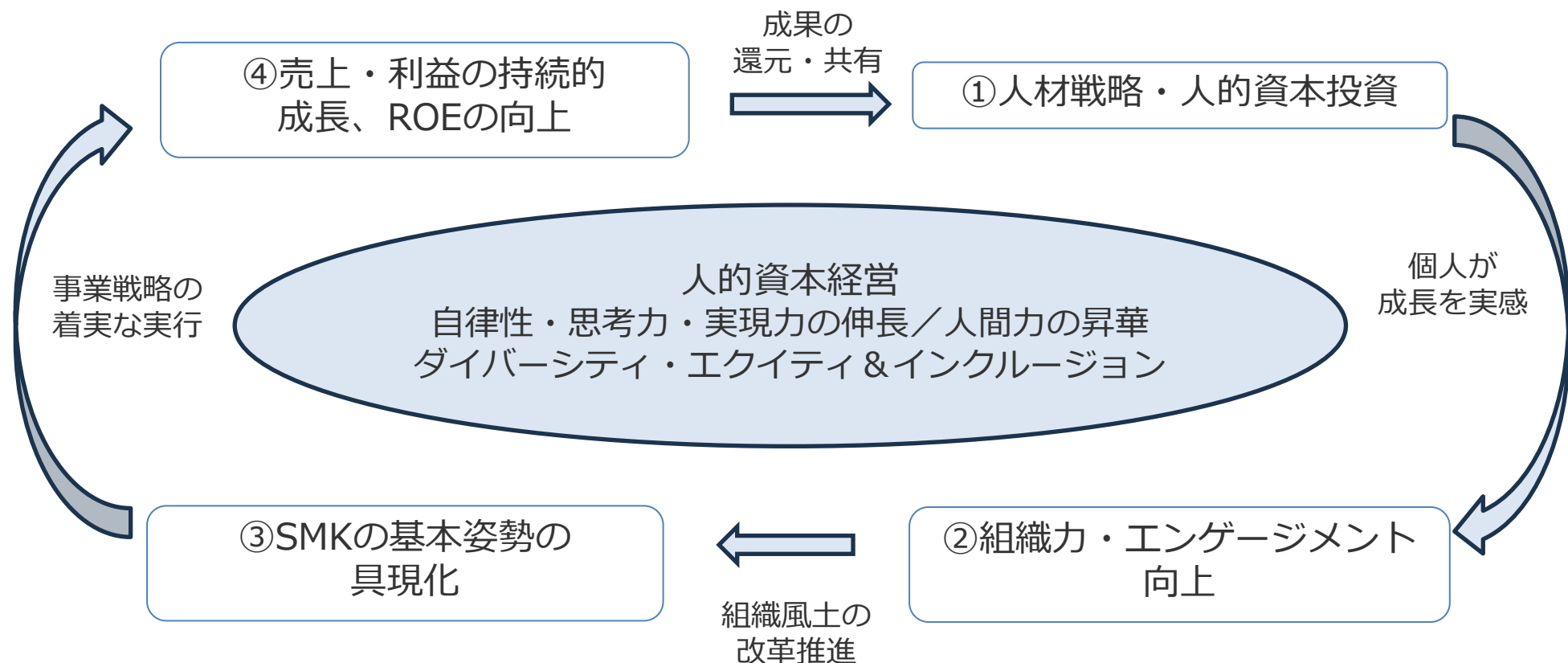
イノベーションセンター

- ビジネスの選択と集中によるリソースの集約と早期の事業化
- 事業化が見込めない分野からの撤退

セグメント	経営方針	取り組み
CS事業部	◆ 競合他社に負けない成長を目指す ◆ 営業人員・体制・投資資金を含め戦略的に資源投下を強化	■ 最重点市場を「車載」に置いた受注拡大 - xEV、E-Bike、4輪、2輪 ■ 情報通信市場、再生エネルギー関連市場の拡大 ■ 成長が期待されるインド市場の開拓 - インド事務所の開設（2025年12月予定） ■ 営業・設計要員の戦略的増強による売上拡大
SCI事業部	◆ 黒字体質への構造改革を徹底 ◆ センサー・センシングビジネスを新たな柱に育成	■ タッチセンサー事業から撤退 ■ 原価低減による損益改善と組織のスリム化 ■ コア事業（リモコン、スイッチ、ユニット）の売上維持・拡大 - 住設、車載、E-Bike
イノベーションセンター	◆ 早期の事業化を目指す ◆ 事業化が困難な分野を見極め、撤退等のコスト管理を徹底	■ 重点ビジネスへのリソース集中 - 音声によるあたまの健康度分析技術 - 筋電センサー ■ コスト管理強化と人員の適正化

- ① 経営戦略と連動する人材戦略・人的資本投資により個の力を極大化
- ② 個に光を当て全員を主役化／学習・共創する組織風土へ改革し組織力を高める
- ③ SMKの基本姿勢の具現化に繋げ、社会への貢献度を高める
- ④ 売上・利益の持続的成長・ROEの向上として成果を現わす好循環に

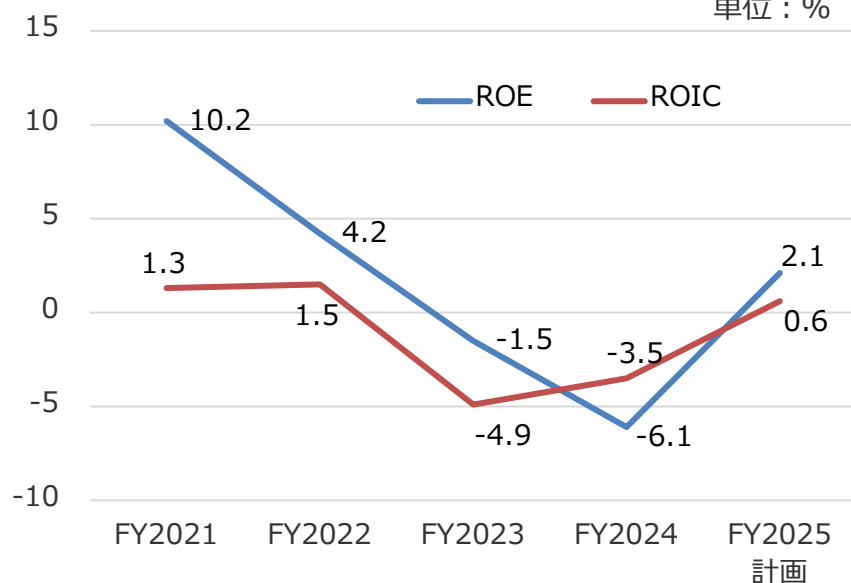
【経営戦略と人材戦略・人的資本投資の好循環サイクル】



- PBRが低迷する要因である①売上・利益低迷と成長性への不透明感、②利益のボラティリティの高さ、③低いROEとその要因である低営業利益率に対する取り組みを強化
- 資本効率に向けた取り組みや投資家との対話も段階的に拡充

ROE ROIC 推移

単位：％



課題	足許の取り組み
事業成長と利益率改善に向けた取り組み	■ 構造改革プログラム（25年3月）によりコスト構造を見直し ■ 売上・利益の着実な成長に向け、事業の選択と集中を実施する等、構造改革を加速
資本効率の向上	■ ROICの社内導入と浸透 - 事業部別ROIC計測実施 - CCC※の改善への取り組み
株主還元の充実	■ 2024年度は、記念配当も含め140円の配当を実施 ■ 2025年度も株主資本配当率（DOE）2％程度を目途とした配当を継続
投資家対話の強化	■ 対外開示資料の充実（統合報告書の拡充、四半期開示資料等） ■ 機関投資家との対話（2024年度24件）を更に強化 ■ 株主様向けTEXPOへの招待

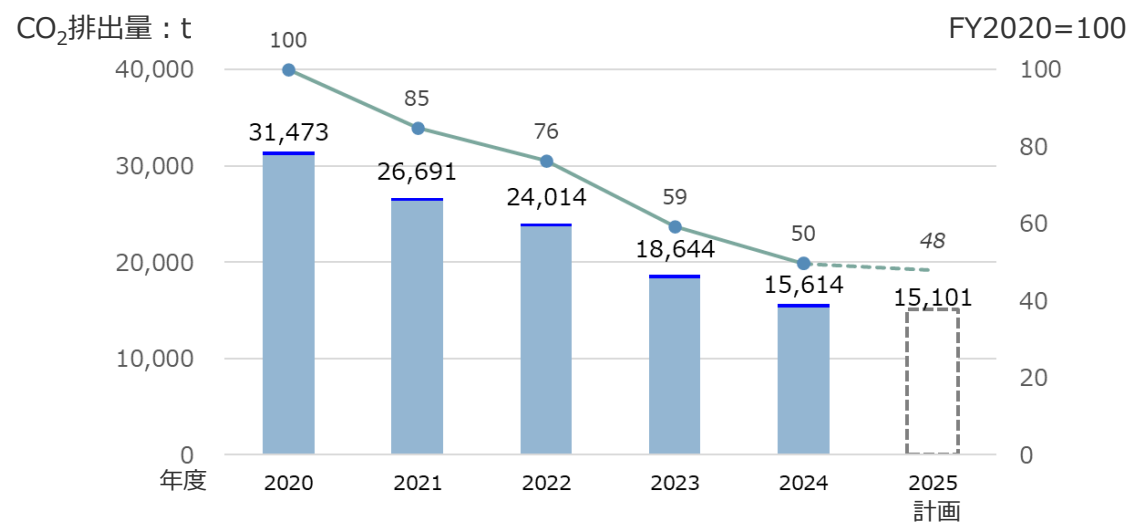
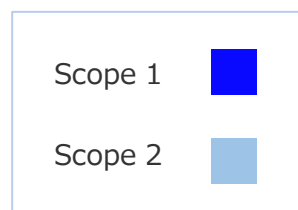
※CCC：キャッシュ・コンバージョン・サイクル

課題

ESG&サステナビリティ経営の推進

取り組み

- コーポレートガバナンス強化
 - ・ 女性社外取締役就任予定（2025年6月24日）
社外取締役 2名→3名、社内取締役 4名→ 3名体制に
- 各種方針等の策定・改定（2025年4月）
 - ・ 人権に関する基本方針の策定
 - ・ 育児／介護休業法改正に伴う規則の改定
 - ・ 贈収賄防止方針の策定
 - ・ カルテル防止方針の策定
 - ・ プライバシーポリシーの改定

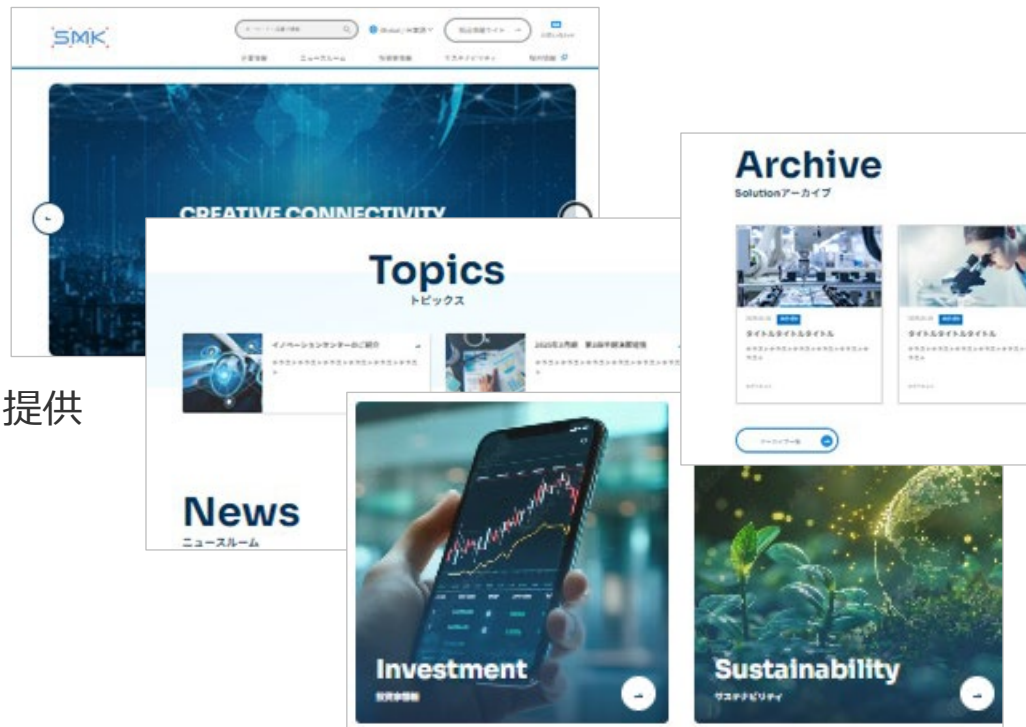
■ CO₂排出量削減状況

Webサイトフルリニューアル

2025年5月末公開予定

- ◆ デザイン・構造を一新
必要な情報を見つけやすい構造に
- ◆ 製品情報・IR情報の拡充
ステークホルダーの皆様のお役に立つ情報を提供

<https://www.smk.co.jp/ja>



※リニューアルに先駆け、100周年記念サイトを4月1日開設

- ◆ 100年の歴史を画像とムービーでご紹介
- ◆ この先の100年の飛躍に向けた取り組みをご紹介

<https://www.smk.co.jp/ja/100th>



| SMK TEXPO 2025

- ◆ 会期：2025年7月2日～4日、10:00～18:00（最終日17:00まで）
- ◆ 会場：東京国際フォーラム、ホール E2（2,000m²）
- ◆ テーマ：電子部品からソリューションへ。

- 100年の歩みや最新の技術・サービスを紹介
- 出展製品数 約250点

※投資家、株主の皆様をご招待いたします。ご来場をお待ちしております。

※TEXPO 2025は招待制のプライベート展示会です。



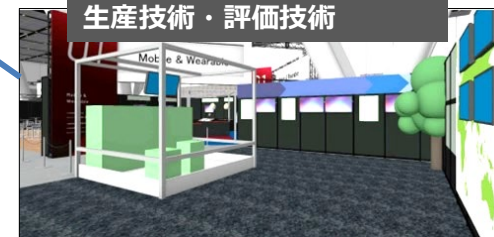
東京国際フォーラム



インダストリー&エネルギー



モバイル&ウェアラブル

事業所紹介・環境取り組み
生産技術・評価技術

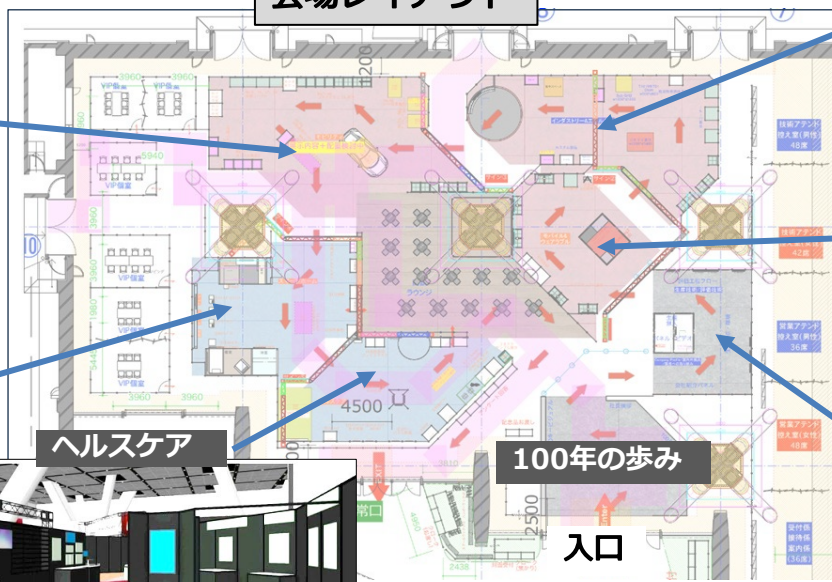
モビリティ



スマートホーム



会場レイアウト



| インド駐在員事務所開設

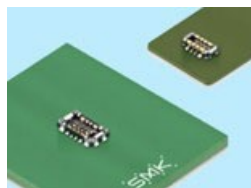
インド駐在員事務所開設によりインド市場の更なる開拓を目指します



- ◆ 開設場所：デリー
- ◆ 開設時期：2025年12月
- ◆ ターゲット市場・顧客
 - ・ 車載市場 二輪、四輪ローカル顧客

【主要生産品目】 各種コネクタ

Information & Communication Technology



高周波対応
基板対基板コネクタ

大電流対応
小型基板対基板コネクタ



USB Type-C™
レセプタクル



φ3.5mmミニジャック

Car Electronics



ロック機構付
FPC/FFCコネクタ



FAKRA対応同軸コネクタ

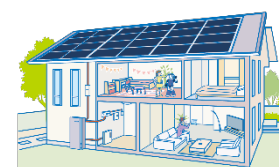


ハイポゴ®ターミナル

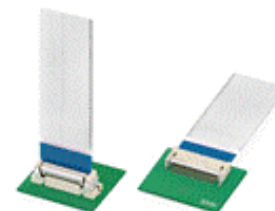


車載カメラコネクタ

Home Appliance & Industry/Others



太陽電池モジュールコネクタ



0.5mm ピッチ ワンアクション
FPC/FFCコネクタ

執行役員 CS事業部長 菅野 英雄

<FY2024 実績>

通期実績は、売上高は対予想4%減の222億円、営業利益は対予想14%減の15億円

■ 家電市場を除き、車載・情報通信・産機市場 の各市場の売上は、予想を下回って推移

<FY2025 予想>

通期予想は、売上高は前期比3%減の216億円、営業利益は前期比47%減の8億円

■ 車載・情報通信市場は前期と同水準、家電・産機市場は前期を下回る予想

単位：百万円		FY2024予想 (2024/10)	FY2024 実績	FY2025 目標	FY2025 予想	前期比	FY2026 目標
売上高		23,158	22,156	24,000	21,565	97%	28,867
市場別	情報通信	7,775	6,592	9,800	6,588	100%	11,900
	家電	2,978	3,314	2,600	3,170	96%	3,000
	車載	9,910	9,798	10,300	9,746	99%	12,300
	産機・その他	2,495	2,452	1,300	2,061	84%	1,667
営業利益		1,775	1,534	1,000	808	53%	1,752
1USD=		1H：¥153.17 2H：¥145.00	¥152.65	¥130.00	¥145.00	－	¥130.00

車載市場

xEV BMS 向 製品開発強化

- ・ EVバッテリー関連コネクタの拡販 → 商談活発

ADAS、インフォテインメント

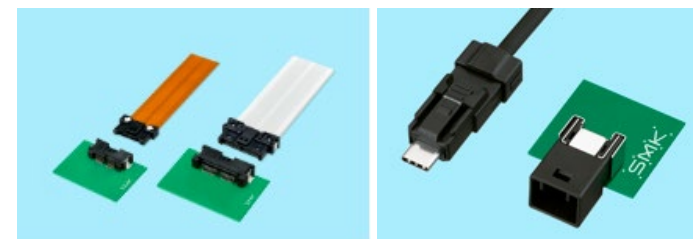
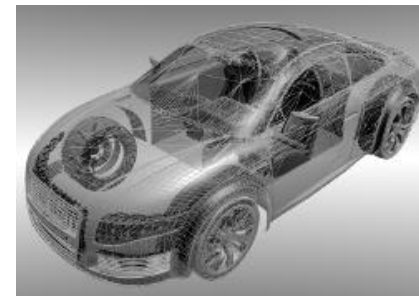
- ・ 車載カメラコネクタ

車載カメラの用途拡大、搭載数増に伴うニーズの多様化

高画素化対応：高速伝送対応品のラインナップ拡充

- ・ インターフェース用 高速伝送対応コネクタ 量産開始

Ethernet対応コネクタ、ロック付きUSB Type-C™



ICT市場

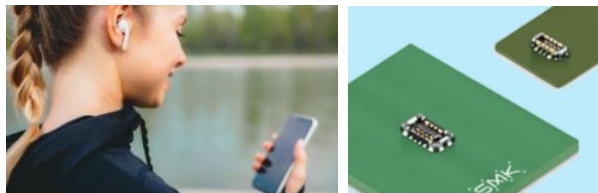
- ・ 仕様が高度化するスマートフォン/タブレット向けコネクタ

小型・高速・大電流 → 大電流対応 基板対基板コネクタ

ラインナップ拡充

- ・ ウェアラブル向けコネクタの積極投入

Watch、VR/AR(XR)



再生エネルギー関連市場

- ・ 小型、薄型、大電流対応ニーズ増

→ 開発強化と受注拡大



【主要生産品目】 スイッチ、車載カメラ、無線モジュール、リモコン、タッチセンサー

SW - Switch -



HCF®



ミニ1ドームスイッチ



ラバープッシュ



トッププッシュスイッチ

CU - Composite Unit -



車載カメラモジュール



Milweb®
(ミリ波センサー)



HarvestLoop™
(自立給電型コイン電池モジュール)

RC - Remote Control -



標準音声伝送リモコン



SMK標準 Android
TV™用リモコン



サニタリー用リモコン

TS - Touch Sensor -



静電容量方式タッチスイッチ

主な用途

- ▶ 操作スイッチ
- ▶ スマホ用スイッチ
- ▶ 車載用カメラ
- ▶ 無線モジュール
- ▶ 各種リモコン
- ▶ 車載用タッチセンサー
- ▶ 産機民生用タッチセンサー

執行役員 SCI事業部長 伊東 崇

<FY2024 実績>

売上高は対予想4%増の256億円、営業利益は対予想2.2億円の下振れ

- 売上高は家電市場、産機・その他市場が好調であったが、円安継続による原価高、メキシコ生産子会社の退職給付費用の計上等のマイナス影響が発生

<FY2025 予想>

売上高は前期比5%減の243億円、営業利益は1億円の黒字転換

- 売上高は車載市場を除き減収ながらも、原価低減による損益改善、組織のスリム化により黒字を確保

単位：百万円		FY2024予想 (2024/10)	FY2024実績	FY2025目標	FY2025予想	前期比	FY2026目標
売上高		24,563	25,643	27,400	24,277	95%	31,000
市場別	情報通信	451	337	700	66	20%	800
	家電	15,515	16,499	16,200	15,179	92%	18,600
	車載	6,229	6,318	7,900	6,630	105%	8,900
	産機・その他	2,368	2,490	2,600	2,403	97%	2,700
営業利益		△1,086	△1,308	10	101	－	700
1USD=		1H：¥153.17 2H：¥145.00	¥152.65	¥130.00	¥145.00	－	¥130.00

■「コア事業」「重点取組」「撤退事業」の明確化

コア
事業

1. 売上高の確保

リモコン、スイッチ、ユニット製品
の売上維持・拡大

重点
取組

2. 成長ドライバー

センサー・センシング関連製品の
ビジネス化

撤退
事業

3. 事業の効率化

タッチセンサー製品の新規受注停止

家電・住設市場、車載市場向け：

- ・既存の技術・製品の横展開
- ・主要顧客への重点的対応、海外顧客へのアプローチ

- ・ SyncBolt®（ボルト軸力監視システム）
- ・ Milweb®（ミリ波センサー）
- ・ スモークセンサー
- ・ HarvestLoop™（自立給電型コイン電池モジュール）

他事業へリソースを配分

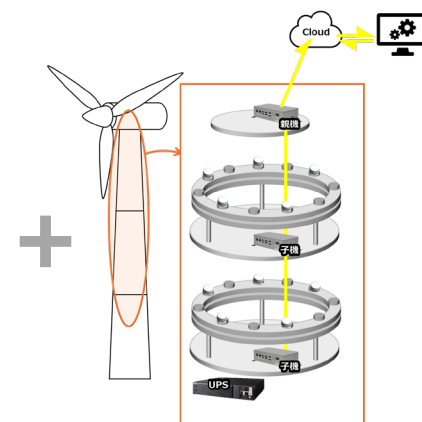
<新市場・商品開発>

SyncBolt®（ボルト軸力監視システム）

- ・ 風力発電機のタワー連結ボルトの軸力（緩み）をリアルタイムに計測し、クラウドサーバーへデータを自動送信
- ・ 遠隔地からでも24時間体制でボルトの状態を継続的に監視することが可能
- ・ IoTデバイス+監視システムをパッケージで提供
- ・ 来期からのサービスインに向けて対応準備中



IoTデバイス



監視システム

構造改革プログラムによるイノベーションセンターのミッションに変更はありませんが、選択と集中を強化していきます。

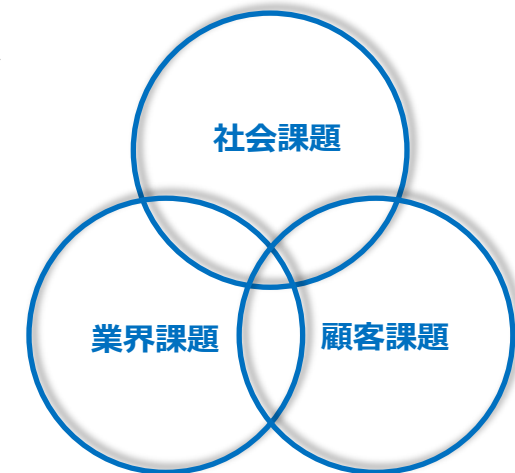
イノベーションセンターのミッション

1. 社会課題解決型のソリューションビジネスの創造
2. 独自性ある高付加価値技術・製品によりSMKの次の収益の柱の創造
3. HW+SW（アルゴリズム）+サービスの新たなビジネスモデルの創造

社内R&Dと社外の先端技術を活用したオープンイノベーションを積極的に掛け合わせ、社会課題、業界課題、顧客課題の解決を目指しています。

イノベーション活動のテーマ

- ・ ヘルスケア
- ・ AI



取締役常務執行役員 イノベーションセンター所長 原 哲雄

<FY2024 実績>

売上高は対予想9%減の251百万円、営業損失は対予想41百万円赤字縮小

- 転倒検知システムや音声によるあたまの健康度を可視化するウェルビーイングアプリの立ち上がり遅れ

<FY2025 予想>

売上高は前期比37%減の158百万円、営業損失は△409百万円

- 転倒検知システムの市場立ち上がり遅れ

単位：百万円		FY2024予想 (2024/10)	FY2024実績	FY2025目標	FY2025予想	前期比	FY2026目標
売上高		278	251	600	158	63%	133
市場別	情報通信	33	17	0	42	247%	0
	家電	0	0	0	6	-	0
	車載	5	6	0	17	283%	0
	産機・その他	240	229	600	93	41%	133
営業利益		△487	△446	△300	△409	91%	△352
1USD=		1H：¥153.17 2H：¥145.00	¥152.65	¥130.00	¥145.00	-	¥130.00

■ 事業の選択集中

- 重点ビジネスにリソース集中
 - 音声によるあたまの健康度分析技術
 - 筋電センサー
- 通信モジュール事業はSCIに移管
- IoTからは撤退（開発プロジェクト中止）

■ コスト管理強化

開発プロジェクトはマイルストーンを設定
開発目標の達成度、顧客受容度、市場性、
差別化要素、ビジネスモデル等から総合的に
開発継続か意思決定する

■ 人員数の適正化

選択集中で取り組む事業に必要な人員数へ

音声によるあたまの健康度分析技術

売上目標（単位：百万円）		
FY2025	FY2026	FY2027
41	123	257

ターゲット分野・営業戦略

① 生命保険

生命保険会社とタイアップし被保険者のあたまの健康度と心身コンディションのみだれを早期に発見する付加価値サービスを提供

② 自治体

地域イベントでの活用や地域住民へのアプリ提供により高齢者のウェルビーイングや社会全体の生活の質の向上に貢献

筋電センサー

売上目標（単位：百万円）		
FY2025	FY2026	FY2027
1	10	127

ターゲット分野・営業戦略

① ゴルフ

スイング時の筋活動を解析し、上級者や過去データと比較、身体の使用方を可視化し、指導・トレーニング効果を向上

① トレーニング（スポーツジム等）

リアルタイムで筋活動を可視化し、トレーニング効果・効率を向上
- 初期段階では、センサーを使いこなせるトレーナーが在籍する店舗や、パーソナルトレーニングを中心に市場開拓

注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

商標について

- Android TV は Google LLC の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- Ethernetは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。
- USB Type-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- SyncBoltは、SMK株式会社および他2社の登録商標です。
- ハイポゴ、HarvestLoop、HCFおよびMilwebは、SMK株式会社の商標または登録商標です。
- その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標または登録商標です。